

技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災	インフラDX	維持管理	環境	コスト	品質	(該当分類に○を付記)
技術名称	交通社会実験		担当部署	都市開発コンサルタント事業本部 都市交通部 東京本社 都市交通部			
NETIS登録番号			担当者	小倉 俊臣			
社名等	日本工営都市空間株式会社		電話番号	03-3514-6589			
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 彦根城とその周辺を観光資産とし「世界遺産」登録を目指す</li> <li>● 2025年、国民スポーツ大会のメイン会場</li> <li>● 都市交通マスタープランにおいて、公共交通利用推進等の目標を設定</li> <li>● パーク・アンド・バスライドが重点施策として位置づけ</li> </ul>						
	2. 技術の内容						
	<p>世界遺産登録、国民スポーツ大会の開催を控えた彦根市において、パーク・アンド・バスライドとグリーンスローモビリティの社会実験によって、低炭素型交通の実現を目指した。</p> <p>パーク・アンド・バスライドは、6年間にわたって、実施内容を変更しながら社会実験を行い、効果的な運行方法を確認した。</p> <p>グリーンスローモビリティは、環境負荷の少ない車両によってパーク・アンド・バスライドを含む公共交通による来訪者の彦根城を中心とした移動を促進した。</p>						
	3. 技術の効果						
<p>パーク・アンド・バスライドでは、城内駐車場の料金改定やパーク・アンド・バスライドの有料化等の条件を変えて実施しているが、城内駐車場が不足する観光シーズンにおいて、効果的であった。将来的には城内駐車場も閉鎖が検討されており、路線バスを活用した有料のパーク・アンド・バスライドの実施が求められる。</p> <p>グリーンスローモビリティは、彦根城に集中する観光客を周辺の商店街や飲食店、観光施設等へ導き、世界遺産を周遊する環境へ配慮した移動手段として期待できる。</p>							
4. 技術の適用範囲							
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通が集中するエリアへの郊外部からのアクセスの確保</li> <li>● 駐車場不足の解消及び駐車場を探すうろつき交通の削減</li> <li>● 環境負荷の少ない移動手段</li> <li>● 低速車両による街並み、景観との一体性</li> </ul>							
5. 活用実績							

6. 写真・図・表

